禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D28

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
３級 写真 学科試験問題
(肖像写真デジタル作業)

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　カロタイプ法では、写真感光材料として、紙の繊維間にAgI(ヨウ化銀)の結晶を生成させる。

2　赤とマゼンタの関係を、補色という。

3　紫外線は肉眼で見ることができないが、赤外線は肉眼で見ることができる。

4　光の三原色は、青、黄及び赤である。

5　イメージサークルとは、レンズがよりシャープな画像を結ぶとされる、焦点面上の範囲のことである。

6　ズームレンズは、焦点距離を連続的に変えることができる。

7　一般的な35mmフルサイズカメラの画面サイズは、24mm×38mmである。

8　証明用写真の撮影では、人物の照明比は、8：1が最も適している。

9　スタジオ内でのモノクロ撮影においては、どのような場合であっても、黒バックは黒に、白バックは白に写る。

10　フォーカルプレンシャッターは、スリット幅の変化によって、露出時間をコントロールするものである。

11　レンズを通過して、撮像素子に到達する光の量を、露光量という。

12　ソフトフォーカスレンズは、主として、球面収差を利用したものである。

13　人物の撮影において、カメラのレンズの高さを変えて行っても、顔や体型は変化しない。

14　デジタルカメラは、一般に、C・M・Yの3原色でカラー画像を作り出している。

15　デジタルカメラは、一般に、感度の設定を手動でも変更することができる。

16　解像度の単位において、dpiは紙上に印刷された解像度、ppiはデータ上の解像度を表す。

17　カラースペース(色空間)を示すsRGBは、スタンダードの色空間の一つとして定着している。

18　複数のソフトウェアを使用するときは、それらのソフトウェアを同時に起動した方が、コンピュータへの負担が少ない。

19　コンピュータ処理において、キャッシュは、データを一時的に格納し、呼び出しや書き込みを高速でできるようにする仕組みである。

20　撮像素子で得られた電荷をデジタル化し、画像処理等を行っていないデータを、JPEGという。

21　明暗関係を8ビットでデジタル化すると、256階調にすることができる。

22　デジタル写真システムのコンピュータへの入力装置として、デジタルカメラやスキャナなどがある。

23　イーサネットは、デジタルカメラとパソコンのケーブル接続や、カードリーダーを使用したデータ転送における一般的なインターフェイスのことである。

24　USBメモリやSDカードは、いずれもフラッシュメモリである。

25　ポータブルのストレージ機器は、SSDよりもHDDの方が耐衝撃性に優れている。

26　可逆圧縮とは、圧縮されたデータをもとの状態に復元する際に、データの欠落を起こさない圧縮方式をいう。

27　グラフィックソフトは、ドロー系とペイント系に分けられるが、写真の表示に向いているのは、ドロー系である。

28　画像フォーマットのGIFは、非可逆圧縮形式のファイルフォーマットである。

29　著作権は、©マークを明記することでのみ保護される。

30　ブルーライトは、パソコンやスマートフォンなど、LEDディスプレイから発せられる青色光のことで、可視光線のうちエネルギーが最も高いことなどから、人体に及ぼす様々な影響が懸念されている。